

### 文系第3問

$0 < a < 1$  とし、関数  $f(x)$  を

$$f(x) = \frac{a}{8}(x-1)^2 + \frac{2}{a} - 3$$

と定める。また、関数  $g(x)$  を次のように定める。整数  $n$  に対し、

$$2n \leq x < 2n+1 \text{ のとき } g(x) = x - 2n$$

$$2n+1 \leq x < 2n+2 \text{ のとき } g(x) = -x + 2n + 2$$

とする。

(1)  $x \geq 4$  において  $f(x) > g(x)$  を示せ。

(2)  $\frac{1}{2} < a < \frac{2}{3}$  とする。座標平面上の  $y = f(x)$  のグラフと  $y = g(x)$  のグラフの  $x \geq 0$  の範囲における共有点の個数を求めよ。

#### 【解答例】

(1)

$4 \leq x \leq 5$  において、 $g(x) = x - 4$  だから

$$f(x) - g(x) = h(x) \text{ とおくと } h(x) = \frac{a}{8} \left\{ x - \left( 1 + \frac{4}{a} \right) \right\}^2 \geq 0$$

しかし  $4 \leq x \leq 5$  では  $1 + \frac{4}{a} > 5$  だから等号は成り立たない。

$x > 5$  では  $x - 4 > g(x)$  なので、 $f(x) \geq x - 4 > g(x)$

よって  $4 \leq x$  において  $f(x) > g(x)$  (証明終)

(2)

$$f(0) = \frac{a}{8} + \frac{2}{a} - 3 = J(a) \text{ とおく。}$$

$\frac{a}{8} = \frac{2}{a}$  となるのは  $a = 4$  のときなので、 $\frac{1}{2} < a < \frac{2}{3}$  では  $J(a)$  は単調減少で、

$$J\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{65}{16}, J\left(\frac{2}{3}\right) = \frac{37}{12} \text{ から、} f(0) > 0$$

$$f(1) = \frac{2}{a} - 3 = J(a) \text{ とおくと、} J\left(\frac{1}{2}\right) = 0, J\left(\frac{2}{3}\right) = 1 \text{ から、}$$

$$\frac{1}{2} < a < \frac{2}{3} \text{ で } 0 < f(1) < 1$$

したがって、 $x = 1$  の両側に1つずつ交点がある。

$$f(2) = \frac{a}{8} + \frac{2}{a} - 3 = J(a) \text{ について、} J\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{17}{16}, J\left(\frac{2}{3}\right) = \frac{1}{12} \text{ から、} f(2) > 0$$

$$f(3) = \frac{a}{2} + \frac{2}{a} - 3 = J(a) \text{ について、} J\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{5}{4}, J\left(\frac{2}{3}\right) = \frac{1}{3} \text{ から、} f(3) > 0$$

しかも  $f(3) = 1$  となるのは  $J(a) = 1$  から、 $a = 4 - 2\sqrt{3}$  のときで、

$$\frac{1}{2} < a < 4 - 2\sqrt{3} \text{ のとき、} f(3) > 1$$

$$a = 4 - 2\sqrt{3} \text{ のとき、} f(3) = 1$$

$$4 - 2\sqrt{3} < a < \frac{2}{3} \text{ のとき、} 0 < f(3) < 1$$

$a \geq 4$  のときは(1)より  $f(x) > g(x)$

以上より求める共有点の個数は、

$$\begin{cases} \frac{1}{2} < a < 4 - 2\sqrt{3} \text{ のとき,} & 2 \text{ 個} \\ a = 4 - 2\sqrt{3} \text{ のとき,} & 3 \text{ 個} \\ 4 - 2\sqrt{3} < a < \frac{2}{3} \text{ のとき,} & 4 \text{ 個} \end{cases}$$

◆コメント◆

$y = 1, 0$ の間での交点を調べます。解いているうちに  $g(x)$  の頂点で  $f(x)$  の値を調べればよいとわかります。(1)では等号成立条件に注目します。文系数学としてはややレベルが高いですが、丁寧に解いていけば必ず正解できる良問です。

© 東京鳳籃学院